

ふるさとなんかん応援寄附金のお願い



南関町は、町土の約半分を山林が占め、自然豊かな町でございます。古くは、町名の由来である「みなみのせき」として関所が置かれ、交通の要衝として発展してきました。

しかしながら、昭和30年合併当時2万人を超えていました人口が、現在では、1万人を下回っています。

少子高齢社会を迎えている今日、国の行財政構造改革の影響で、地方交付税や各種補助金が縮減されるなかで、一段と財政の厳しさが増しています。

このような中、南関町では、より多くの皆様に南関町を応援していただけるように、一般社団法人南関ふるさと応援団と協力し、積極的な情報発信と産業振興・地域活性化に取り組むとともに、新たに加工品開発センターを建設し、商品開発にも取り組んでいるところであります。

今回、ふるさとなんかん応援寄附金の新しい「お礼の品カタログ」を作成しましたので、ご高覧いただきますようお願いいたします。

平成29年度は、4,449件（105,031,001円）のご寄付をいただきました。いただきました寄附金は、南関町の活性化のために活用させていただきます。

また、平成30年度からは、ご寄附いただきました皆様の意見を町政に反映できるように、寄附金の使途を選択制に変更させていただいております。

今後も、これまで同様に、ふるさと「なんかん」へのご支援、ご協力をお願いいたします。

平成30年10月

南関町長 佐藤 安彦